

2024年2月17日(土)に「学び続ける教師コミュニティ2024春 教育実践福島ラウンドテーブル」を開催します。

午前の部は、野尻紀恵氏(日本福祉大学 社会福祉学部・教授)より、『ヤングケアラー～見過ごされてきた子どもたち～』のテーマでお話をいただきます。

午後の部はラウンドテーブルを行います。様々な立場の方と少人数で話題についてじっくりと語り合う時間です。ラウンドテーブルでは院生も自身の研究内容について発表します。研究の更なる充実のために、忌憚のないご意見を頂けたら幸いです。

ハイフレックス型開催ですので、ご興味のある方は下記URL、またはQRコードからお申込みください。



夏のラウンドテーブルの様子

学び続ける教師コミュニティ 2024春 教育実践福島 ラウンドテーブル

申し込みURLはこちら↓

<https://hdc.educ.fukushima-u.ac.jp/other/archive/988/>

申し込みQRコードはこちら→



福島大学大学院教職実践研究科

福島大学公式キャラクター
めばえちゃん



教職大学院便り

編集:教職実践研究科
M1 猪俣 北田

令和6年1月31日 発行 NO.2



大学院の講義では、院生の実践から学ぶこともあります。教科の授業構想をしたり、模擬授業を行ったりしています。右の画像は、現職派遣院生の模擬授業の様子です。「漢字かるた」をみんなで行いました。模擬授業後、特別支援教育において漢字かるたを行う場合の注意する点や予想される生徒の反応などについて話し合いました。取り札の並べ方や読み札提示の仕方など漢字かるたの指導方法だけでなく、生徒の卒業後の姿まで見据えた漢字学習の在り方などについても議論になりました。

大学院では、様々な専門性をもった院生が集まります。だれかの学びが自分の学びにつながります。「学ぶ楽しさ」を実感しています。

大学院の様子





教職大学院便り

編集: 教職実践研究科
M1 猪俣 北田

令和6年1月31日 発行 NO.2

教職ひろば「めばえ」



教職大学院では、毎月1回、大学生との談話会の日を設けています。これは、大学生に大学院や教職のことをもっと知ってもらおうという取り組みです。お菓子や飲み物を話のお供にアットホームな雰囲気になっていきます。

「教師という仕事の良さは何ですか？」

「本当にブラックなんですか？」

など、大学生の教職に係る素朴な疑問に現職派遣院生が本音で語っています。また、学部卒院生が教員採用試験について、自身の経験談をふまえながら教えてくれるなど、大変有益な時間となっています。

我々、大学院生も未来の後輩となる大学生たちと関わることができ、刺激をもらっています。また、教職大学院の先生方も多く参加しており、大学院生と先生方のコミュニケーションの場にもなっています。



教職大学院の
詳しい情報はこちら↓



入試情報はこちらから→



<お問い合わせ先>
福島大学 人間発達文化学類 支援室
Mail: ningen@adb.fukushima-u.ac.jp
Tel: 024-548-8103

各種セミナー充実しています



NITS・福島大学コラボ研修
「新・理科セミナー2023」の様子